

## 令和3年度事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大・縮小を繰り返し、日々の生活においても大きな変革を求められた年でもありました。秋以降、その拡大もようやく落ち着きを見せ、経済活動も徐々に再開してきたところに、年明けからのオミクロン株の流行で景況は再び後退へ反転となりました。2月には感染者のピークアウトとなったものの下げ止まり傾向が続く中で、2月24日にはロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり、今後の景況も厳しい見通しが出されているところです。しかしながら、その一方で、昭和39年以来2度目の東京オリンピックが開催され、日本が世界の関心を集めました。また、木材利用の転換点となった公共建築物等木材利用促進法が改正され、木材利用促進の対象が低層の公共建築物等から中高層を含む「建築物一般」に拡大されるなど我が国の木造建築が新たなステージを迎える年となりました。

住宅産業・木材産業界では、一昨年に大きく落ち込んだ新設住宅着工戸数が春先から回復を見せる一方で、世界的な木材需要の高まりと新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うサプライチェーンの混乱等から木材の需給ひっ迫や価格高騰が生じ、我が国の木材需給にも波及、第3次ウッドショックと呼ばれる状況となりました。春先の輸入製材品や集成材の品不足に始まって、夏以降は構造用を始めとする合板の需給ひっ迫に拡大しました。年末には合板以外のアイテムでは落ち着きも出てきたところですが、2月のウクライナ侵攻を受けてロシア材に対する貿易規制が発せられたところです。

このような中で、プレカット工場は住宅ビルダーからの発注を受け、必要となる国産材や外材の住宅資材を確保する流通の要となって木造住宅建築を支えてきたところです。木材供給と住宅建築とをつなぐ接点にあり、住宅資材の需給安定に重要な役割を担うプレカット工場の位置づけが再認識された年でもあったのではないのでしょうか。

このような中で協会は、プレカット工場の人材育成という課題に对应していくため、会員に対する技術支援として、プレカットCAD技術者の研修と認定登録を行いました。プレカット部材を発注するビルダーは、必ずしもCAD設計に必要な情報を揃えて発注される方ばかりではないことから、工場側で発注情報の不備や誤りに気付いて加工ミスを防いだり、改善提案をしていくことが益々重要となっています。このため、CADオペレーター業務に必要な知識や技術を学ぶ場を設ける支援を行いました。また、業務支援として、プレカット部材に10年間の瑕疵保証責任保険を付保するプレカット部材瑕疵保証事業にも取り組んでいるところであり、このような取組を通じて会員各位の事業に貢献できるよう努めてきました。

以下、令和3年度の各事業についてその概要を報告します。

## 1 総会・理事会の開催

### (1) 第1回理事会（書面決議）

- ① 日時 : 令和3年5月19日（提案）  
令和3年5月25日（決議）

#### ② 議題

- 第1号議案 第11回定時社員総会の開催について  
第2号議案 令和2年度事業報告（案）について  
第3号議案 令和2年度収支決算（案）について  
第4号議案 令和3年度会費等決定について  
第5号議案 令和3年度役員報酬決定について  
第6号議案 役員選任について  
報告事項 令和3年度事業計画  
報告事項 令和3年度収支予算

### (2) 第11回定時社員総会（書面決議）

- ① 日時 : 令和3年6月1日（提案）  
令和3年6月15日（決議）

#### ② 議題

- 第1号議案 令和2年度事業報告承認の件  
第2号議案 令和2年度収支決算承認の件  
第3号議案 令和3年度会費等決定の件  
第4号議案 令和3年度役員報酬決定の件  
第5号議案 役員選任の件  
報告事項 令和3年度事業計画及び収支予算について

### (3) 第2回理事会（書面決議）

- ① 日時 : 令和3年6月16日（提案）  
令和3年6月21日（決議）

#### ② 議題

代表理事等の選定について

代表理事（会長）	原田実生
副会長	島田泰助
副会長	工藤和夫
常務理事	坂田幹人

(4) 第3回理事会（書面決議）

① 日時：令和3年11月19日（提案）

令和3年12月2日（決議）

② 議題

第1号議案 第12回臨時社員総会の開催について

第2号議案 役員選任について

(5) 第12回臨時社員総会（書面決議）

① 日時：令和3年12月2日（提案）

令和3年12月27日（決議）

② 議題

役員選任について

(6) 第4回理事会（書面決議）

① 日時：令和4年1月5日（提案）

令和4年1月21日（決議）

② 議題

副会長の選任について

## 2 組織の強化

### (1) 協会活動の強化

3年度は、以下に掲げる技術支援対策事業、調査事業、普及啓発事業、プレカット部材瑕疵保証事業、違法伐採対策（合法木材供給事業者認定）、関係機関との連携強化等の取組を着実に実施して、協会活動の強化に取り組みました。

### (2) 会員加入促進

協会活動の活性化を図りつつ、会員外のプレカット関係事業者に積極的に情報発信を行って、会員加入の促進に取り組みました。

その結果、1社の入会を得たところです。

### (3) 3年度の会員異動状況

〔A会員〕

年度始会員数：58、脱会会員数：2、入会会員数：1、翌年度始会員数：57

〔B会員〕

年度始会員数：1、脱会会員数：0、入会会員数：0、翌年度始会員数：1

〔賛助会員〕

年度始会員数：12、脱会会員数：1、入会会員数：1、翌年度始会員数：12

### 3 事業概要

#### (1) 技術支援対策事業

会員の事業所に所属する職員等の育成を図るため、今年度も木質構造・材料・伏図作成等プレカットCAD技術者に必要な知識や技術を学ぶ「プレカットCAD技術者研修」を実施しました。研修では、当協会の基準に基づき、1級コース（経験年数10年以上程度）、2級コース（経験年数3～10年程度）、3級コース（経験年数3年未満程度）の区分を設けました。併せて級区分毎の登録を更新するための研修も実施しました。（別紙）。いずれの研修も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や地方受講者の利便性確保等の観点からオンラインによるWEB開催としました。

また、令和2年度の研修修了者のうち、登録を希望する者を対象に、プレカットCAD技術者認定登録を行いました。

#### (2) 調査事業

##### ① 会員プレカット工場基礎調査の実施

協会会員の工場を対象に、保有する加工機械の種類・数、機械の能力・加工実績、原材料の国産材・輸入材の割合、出荷先の形態等について、年1回定期的に調査を行い、その結果を協会運営の基礎資料等とするため、今年度もA会員を対象に本調査を実施しました。調査に当たり、これまでの調査内容の見直しを行い、より幅広く業況等を把握できるよう調査内容と様式の見直しを行いました。

また、前回の集計結果について、総括的・平均的な整理や分析を行ってプレカットニュースで年4回に分けて報告を行いました。

##### ② 協会会員による業況調査の実施

A会員を対象として、3ヵ月毎に業況調査（実施月：6月、9月、12月、3月）を行って、その結果をプレカットニュースに掲載しました。

また、プレカット加工業の業況を継続的に把握するため、地域毎の代表会員8社にご協力をいただき、前述の調査を実施しない月の業況について調査を実施しました。

これら調査の結果については、総括的・平均的なデータとして行政機関からの照会や中央需給情報連絡協議会の報告等に活用しました。

### (3) 普及啓発事業

#### ① 「プレカット ニュース」の発行

プレカットニュースを協会会員のみならず、広くプレカット関係者への情報発信に使うことを念頭に編集・作成し、3ヵ月毎に年4回発行しました。発行したニュースは月初の会員への情報定期便により会員各位へ発送するとともに、プレカットCAD技術者研修の受講生等の会員外のプレカット関係者に発送し情報発信を行いました。

(注) 令和4年4月現在 通算104号を発行

#### ② ホームページの充実

協会の活動状況やプレカット加工業について、工務店等のユーザーをはじめ一般消費者に広く知っていただくため、引き続き協会ホームページを開設しました。また、プレカットCAD技術者研修の公募ツールとしても積極的に活用しました。

#### ③ 行政情報等の共有化促進

毎月初に情報定期便として、国土交通省の建築着工統計調査報告や林野庁の木材需給情報等を会員宛に搬送しました。

また、林野庁等からメールで提供される行政情報を、随時会員に周知を行いました。特に、新型コロナ感染症関連の情報は、その感染状況の変化や対策の変更に応じてたくさんの情報が送られて来ましたが、会員組織内にもしもの事態が生じた場合に備えて、前広の情報提供に努めました。

### (4) プレカット部材瑕疵保証事業への協力

協会では、会員が組織する全国住宅プレカット部材共済会において、別会計の事業として「プレカット部材瑕疵保証事業」を実施しました。この事業は、登録会員が販売したプレカット部材の瑕疵に起因して、その販売先である住宅事業者が「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく瑕疵担保責任が生じた場合にその保証を行うもので、住宅ビルダーの他社との差別化や施主様への安心提供に資すると考えられること等から、プレカット工場の営業ツールとして普及を図るべく、その取組に積極的に協力しました。

### (5) 違法伐採対策の推進

会員を対象とした合法木材供給事業者の認定を行う事業を実施しました。現在の認定は、16事業者23工場となっています。3年度は、認定事業者の取組状況を上部団体に報告するための調査や更新期を迎えた者の認定更新、会員の合法木材供給の取組を支援するため最新の情報を取りまとめた資料の配付等を行いました。

(6) 林野庁等関係機関との連携・協力

- ① 林野庁が開催する「国産材の安定供給体制の構築に向けた中央需給情報連絡協議会」の構成員として会議に参画し、プレカット業界を取り巻く業況等について説明を行いました。
- ② 一般社団法人全国木材組合連合会、公益財団法人日本住宅・木材技術センター等が実施する事業に対して積極的に参加協力しました。

(別紙)

## 令和3年度プレカットCAD技術者研修・ プレカットCAD技術者認定登録の実施状況

### 1 概要

会員等のプレカット工場に所属するCAD技術者の育成を図るため、木質構造・材料・伏図作成等プレカットCAD技術者に必要な知識や技術を学ぶ「プレカットCAD技術者研修」を実施しました。

また、プレカットCAD技術者研修を修了した優良な技術者のうち希望者を協会に登録・広告していますが、その有効期間を5年間とし、認定登録を更新するための研修を実施しました。

研修の企画・実施に当たっては、プレカットCAD技術者育成検討委員会に審議いただくとともに、委員会の委員に研修講師として協力をいただきました。

#### 【認定登録者】(令和4年4月1日現在)

1級	42名	(うち 会員	14名)
2級	342名	(うち 会員	147名)
3級	50名	(うち 会員	26名)
計	434名	(うち 会員	187名)

### 2 プレカットCAD技術者育成検討委員会

研修水準の維持向上とその円滑な実施を図るため、学識経験者等からなるプレカットCAD技術者育成検討委員会を設置し、研修の実施方針・内容等について審議をいただくとともに、研修講師等として研修の実施に当たっての協力・指導を仰ぎました。

#### 【委員名簿】

委員長	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授
委員	小野 泰	ものづくり大学 教授
	鈴木 茂	宮川工機株式会社 業務部 部長代理
	田口 隆一	ARU田口設計工房 主宰
	野辺 公一	株式会社オプコード研究所 代表取締役
	村上 淳史	村上木構造デザイン室
	森下 佳彦	征矢野建材株式会社 CAD室兼設計室長
	山辺 豊彦	有限会社山辺構造設計事務所
WG委員	田村 芳子	株式会社オプコード研究所

### 3 研修期日及び方式

#### (1) 新規研修

研修コース	期 日	方 式
1 級コース	令和4年3月 1, 2, 3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日～3日(午前中)に、別途作成したテキスト、演習資料等によるWEB研修を実施</li> <li>・ 3日午後に1時間と1時間半の2コマの修了考査を実施</li> </ul>
2・3級、併願コース	令和4年2月 2, 8, 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日、8日～9日13:50まで、別途作成したテキスト、演習資料等によるWEB研修を実施</li> <li>・ 9日14:10から1時間程度の修了考査を実施</li> </ul>

#### (2) 更新研修

研修コース	期 日	方 式
1 級コース	令和4年3月10日	・別途作成したテキスト、演習資料等によるWEB研修を実施
2・3級コース	令和4年2月17日	同 上

### 4 講師

#### ① 新規研修

- ・ものづくり大学 建設学科 教授 小野 泰 氏 (1級、2・3級コース)
- ・ARU田口設計工房 主宰 田口 隆一 氏 (1級、2・3級コース)
- ・村上木構造デザイン室 村上 淳史 氏 (1級、2・3級コース)
- ・有限会社山辺構造設計事務所 山辺 豊彦 氏 (1級コース)
- ・株式会社オプコード研究所 所長 野辺 公一 氏 (1級コース)
- ・ " 田村 芳子 氏 (2・3級コース)

#### ② 更新研修

- ・ものづくり大学 建設学科 教授 小野 泰 氏 (1級コース)
- ・ARU田口設計工房 主宰 田口 隆一 氏 (1級、2・3級コース)
- ・村上木構造デザイン室 村上 淳史 氏 (1級、2・3級コース)

### 5 研修プログラム

- ① 新規研修の1級コースは、2級の登録者で経験年数10年以上程度の受講要件を課して、受講者をプレカット工場のCAD部門の責任者相当と想定していることから、より高度な研修内容としました。受講者に対して、事前課題を課し、研修の中でその内容について各自が事例発表を行うなど、単に講義を受けるだけでなく、自ら考えてその成果を発表することにも着目した研修としました。
- ② 新規研修の2・3級、併願コースについては、CADの仕事を始めただけの者から10年程度の経験を有する者まで幅広い層の受講者となることから、研修の内容も基本的な話から応用の話まで幅広い内容の研修としました。



- ③ 更新研修の1級コースは、前回の研修以降の経験や自社工場の取組内容を発表し、その内容を受講者間で共有することにより、今後の自社工場の改善を図るための取組のヒントを得ることに着目したレベルの高い研修としました。
- ④ 更新研修の2・3級コースは、前回の研修以降の関連法規の改正や実際の住宅建築時に発生した事故の事例検証を行う等の実践的な研修としました。

## 6 修了考査

新規研修の受講者に対して研修講義の終了後に考査を実施しました。オンラインの開催としたことから、Google フォームなどのクラウドシステムを活用して、受講環境によらず従来と同レベルの考査が実施できるように努めました。

各コースとも、修了考査において基準点に達した者を研修修了者とし、申請によりプレカットCAD技術者認定登録を行いました。(今年度の登録は前年度の修了者)

- ① 1級コースは、前半1時間と後半1時間半の2コマの考査とし、前半に木質構造に関する選択問題とプレカット工場の生産性向上のための取組についての記述問題を、後半にCAD加工図面の見方や改善提案を問う図面問題などを出題しました。
- ② 2・3級、併願コースは、木材と木構造についての選択問題、CAD加工図の見方と問題点への対応策を問う図面問題などを出題しました。

### 【コース別の受講者・修了者数】

(単位：人)

コース	受講者数	修了者数
1 級	15 ( 4)	9 ( 1)
2 級	36 (17)	36 (14)
3 級	32 (13)	31 (11)
2・3級併願	16 ( 5)	
更新1級	4 ( 2)	
更新2級	27 (14)	
更新3級	3 ( 2)	

(注) ① ( ) は会員所属の数で内数。

② 2・3級併願の修了者は2級と3級に振り分けた。